

果樹・茶用殺虫剤

ザムコイル®フロアブル10

powered by
RYNAXYPYR®

海外輸出用のお茶づくりにも。

■海外でも基準値が設定されています

アメリカ、台湾に輸出する茶の防除にも使えます。

■ハマキムシ類の食害を速やかに停止

ジアミド系殺虫成分リナキシピル®を含有。ハマキムシ類に効果が高く、その効果は比較的長く持続します。

■成虫にも有効。次世代の幼虫密度を低減

チャノコカクモンハマキ、チャハマキの成虫にも有効。産卵数(卵塊数)が大幅に減少し、次世代幼虫の密度低減に大きく貢献します。



茶・九州版

成虫に対する効果で、産卵を抑制し、次世代密度を低減!

■チャノコカクモンハマキに対する効果

2015年 福岡県農林業総合試験場八女分場

供試薬剤	生存虫率(%)								産卵率(%)			平均卵塊数	交尾率	ふ化率
	2日後		5日後		7日後		10日後		5日後	7日後	10日後			
	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀						
サムコルフロアブル10	63.3	83.3	26.7	36.7	13.3	26.7	0	23.3	26.7	30	30	2.1	76.7	0
無処理	100	100	96.7	100	90	93.3	21.7	46.7	43.3	70	73.3	4.3	90	60

【試験概要】 試験方法：供試薬剤をハンドスプレーでアイスクリームカップとその蓋に計2ml噴霧し、自然乾燥させた。また、無農薬園から採取した茶葉を前述の薬液に60秒間浸漬し、風乾後、1カップ当り6枚投入した。なお、成虫の水分補給用として、水道水で湿らせた脱脂綿を入れた。
供試虫：羽化24時間以内の未交尾コカクモンハマキ成虫（雌1頭、雄2頭）を1組/カップとし、30組供試した。
飼育条件：21℃15L-9D
調査：成虫の生存状況を試験開始2日後、5日後、7日後、10日後に調査した。また、産下した卵塊数、精包の有無で交尾率を調査した。

■チャハマキに対する効果

2015年 鹿児島県農業開発総合センター茶業部

供試薬剤	生存虫率(%)								1容器当たり累積卵塊数			産下卵塊数/雌
	3日後		5日後		7日後		10日後		5日後	7日後	10日後	
	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀				
サムコルフロアブル10	95	85	75	65	30	35	10	5	0.5	0.8	0.8	0.3
無処理	100	100	100	100	83.3	83.3	8.3	33.3	3.3	6	7.7	3.9

【試験概要】 供試虫：チャハマキ。茶業部場内で2015年3月に採取した個体群を累代飼育（24℃、14L10D）し、蛹期に雌雄を分別し、羽化1～3日以内の未交尾成虫を供試した。
処理方法：Tween20（10,000倍）を加えた薬液を調製した。薬液をハンドスプレーでプラスチック製容器とその蓋に20mg/cm²を噴霧し、乾燥させた。また、薬液に10秒間浸漬し、風乾した茶葉5枚を1カップに入れた。その後、未交尾雌雄2ペアをカップに移し、水分摂取用の湿らせた脱脂綿を容器に入れた。
調査方法：処理1、3、5、7、10日後に成虫の生存状況、産下した卵塊数を調査した。また、調査時点で死亡した雌成虫および処理10日後まで生存した雌成虫は70%アルコールに浸漬後、腹部を解剖し精包の有無を確認した。精包が確認された個体は交尾が成立したとみなした。

上手な使い方

チャノコカクモンハマキ、
チャハマキ防除

サムコルフロアブル10は、成虫と幼虫に対する効果を有しており、
早めの散布が有効です。

■適用害虫と使用方法（茶のみ抜粋）

2018年7月現在

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロロールを含む農薬の総使用回数
茶	チャノコカクモンハマキ チャハマキ ヨモギエダシャク	2000倍	200～400ℓ/10a	摘採3日前まで	1回	散布	1回
	チャノホソガ	2000～4000倍					
	ハスモンヨトウ	4000倍					

■上記以外の登録作物：りんご、ぶどう、おうとう、なし、もも、ネクタリン、かき、うめ、すもも、あんず、さとうきび

△効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節してください。
- 過度の連用を避け、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用してください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

△安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意してください。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。
- 本剤は皮ふに対して弱い刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮ふに付着しないよう注意してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。 ●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

販売：アグロ カネショウ株式会社／北興化学工業株式会社／丸和バイオケミカル株式会社／三井化学アグロ株式会社（五十音順）

製造：エフエムシーケミカルズ株式会社 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-1 大手町パークビル8F www.fmc-japan.com



製品情報は
こちらから→